

## グリコの旅

### 「ゴールドコースト&シドニーとっておき！オーストラリア6日間」

江崎友子

私にとって2度目、11年ぶりのオーストラリアです。時期も同じ5日違いの5月！  
前はウルル（当時はまだエアーズロックと呼んでいました）やサンゴ礁に浮かぶグリーン島が主目的でした。前は50年来の友人澄子さん、今回はあすなろの友人縄島スミ子さんと一緒です。何と言ってもゴールドコーストが楽しみです。

成田から約9時間でクィーンズランド州の州都ブリスベンに午前6時到着。入国審査は自動で、所持品審査は厳しいことで有名です。私たちは常備薬など所持していると申告していたので別の列に並び麻薬犬にククンされました。こんなことが有効なのか疑問でした。梅干しも種が問題で持ち込めません。今度梅干しの種を植えてみようと思います。

時差+1時間なので多少の寝不足感があるけれど早速バスに乗り込み市内観光。季節は秋です。気温9度。最低14度最高24度という情報ですが。26人のツアーです

ここでは何といってもローンパイン・コアラ・サンクチュアリが注目です。コアラを抱っこして写真を撮ってくれます。自分のカメラでも撮影してよいのです。意外と体重があり身長120cm以上の人しか抱っこできません。またカンガルーも伸び伸びスピードで走っています。



園内でオージビーフなどの昼食をとり、75キロ先のゴールドコーストへ。ホテルにチェックイン後に添乗員、現地ガイドと徒歩でお土産屋さんやビーチなど散策し夕食までフリーに。ビーチの砂は細かくゴミ一つ落ちていない。海は青く空も青い。白い波、サーフィンをする人「江の島と違うね！」とうなづきあった。「水平線が長い地球が丸いとわかる」とスミ子さん。



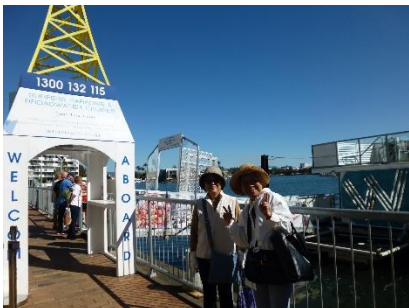
帰り道ホテルの近くで道が解らなくなり日本人のお店「うまかもん」を見つけて教えてもらう。オーストラリアは日本人も多く住んでいる。「明日の夕食はここで食べます」と約束する。今日は早めに寝ることに・・・

翌朝はビーチウオーキングして海の見えるレストランへ。パンケーキの朝食。その後昼食までフリー。私はサーフィンの世界大会が開催されたバーレイヘッズへ行きたかったので、スミ子さんに

相談すると快く賛成してくれたので添乗員に相談した。するとホテルのコンセルジュに聞こうということでホテルに戻ることに。地図を見て添乗員は「無理な距離だと思う」といったが係の人が「路面電車で行けるが乗換が必要」ということでブロード・ビーチに変更した。そこはライフ・セーバーの学校があるビーチです。ホテルで一日中バスも路面電車も乗れる切符も購入できた。停留所もすぐ近くにあり数分おきにでているようだ。ところが停留所が見つからず、信号待ちしていた女性二人連れに地図を示して切符を見せると、スマホでチェックして停留所まで案内してくれたのです。そこで黄色いところに切符をタッチするのです。ホテルで聞いたときは日本のバスのように乗車してタッチすると思いこんでいたので教えて貰ってよかったです。親切に本当に感謝でした。4つ目であつという間に到着。



ホテルのあるサーファーズパラダイスより静かで、児童公園があるところで砂浜も小石が混じって波もそれほど高くありませんでした。ツアーの皆さんが私たちは行動力があると褒めてくれました。次はゴールドコーストの運河をランチクルーズです。



運河と言っても地図には川の名前が二つあるだけなので船長さんに聞いてみました。地図を指して。すると船の地図を大きくアップして「ここだよ」と笑顔で教えてくれました。カメラを向けるとにっこり、若い日のトムクルーズそっくりでしたよ！

次は37キロ離れた世界遺産スプリングブルック国立公園へ。



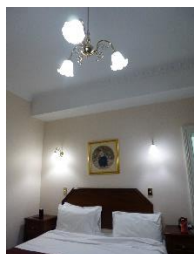
展望台と二つの滝をみた。山火事が見えたが森の活性の為に自然消火させる。イエローストーンと同じ。植物も懸命に生きています。夕食は「うまかもん」でお寿司とおでん。ビーチで南十字星を見る

旅も4日目ブリスベンに戻り国内線でシドニーへ。約1時間半の飛行。日本人男性のCAとちょ

っとおしゃべり。「オーストラリアは物価が高い」「でも預金金利が高い」など。



(空から見た南半球最大の都市)世界3大美港のシドニー、世界遺産のオペラハウスはラウンドマーク、残念ながらトイレを拝借しただけです。軍港でもあり、イギリス統治時代の面影もある。10月にはジャガランダの花も咲くそうで機会があればまた訪れたい。これから約100<sup>キロ</sup>のブルーマウンテンズ国立公園の玄関口、カトーンバのホテルへ。



レストランは暖炉の火があり、私だけでホッとするホテルでした。ここへ来る途中でスーパーに寄りました。



朝食後駅まで散歩!

いよいよブルーマウンテン・シーニックワールドです。ホテルから10分で着きました。



53度の世界一斜度のトロッコやケーブルカーを乗り継ぎ熱帯雨林をミニウォーキング。



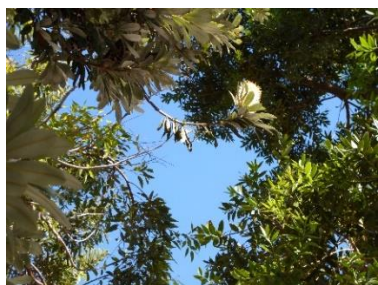
自生するユーカリ油分が発散され山全体が青くかすんで見えるので命名されたブルーマウンテン。

アボジリニ伝説の3つの奇岩は3姉妹が魔王に連れ去られない様奇岩にしたが人間に戻れなかった

朝一番の入場で混雑もなくゆっくりと見学出来、「昼食を予定より早く食べられますね」と現地ガイドの方に声をかけるとお店に電話して1時間早く美味しい中華料理が食べられ、シドニーで自由時間が取れました。最後のお楽しみはシドニー湾トワイライトディナークルーズです。



翌朝は3時起床、バスは4時出発。早いかなと思いながらバスへ。「おはようございます！」の元気な声一杯します。すっかり仲良くなったツアー仲間。ご夫婦が一番多くて親子、おばあちゃんと孫、友人とが一組ずつでしたがみんなお話が好きな方ばかりで和気あいあいでした。オーストラリアの人々の明るい笑顔が沢山見られた旅でした。いつもながらスミ子さんに助けられた旅でした。朝焼けが綺麗！



オーストラリア滞在中、私だけですが爪が毎日割れていたのが帰国後は問題なくいかに乾燥していたか分かりました。日本の湿度もいいものです。

終わり